

2014年10月6日

各位

日産化学工業株式会社

がん細胞用・新規3次元培養培地『FCeM[®]シリーズ』発売のお知らせ

当社は、新たに開発したがん細胞用・新規3次元培養培地『FCeM[®]シリーズ』につきまして、和光純薬工業株式会社(代表取締役社長:小畠 伸三、本社:大阪府中央区)を代理店として、本年10月より販売を開始しましたのでお知らせいたします。

『FCeM[®]シリーズ』は、食品・医薬品添加物であるジェランガムを主体とする“FP001”が配合されています。これは当社が独自研究により発明したポリマーで、培地に加えると3次元状のマイクロゲルを形成し、細胞が均一に分散されます。

抗がん剤のスクリーニングには、主にプラスチック製プレートを用いた2次元環境下で培養されたがん細胞が用いられています。しかし、生体と環境が大きく異なっており、スクリーニングの結果が実際とは異なるなどの問題があることから、3次元培養法が求められていました。このような状況のもと、種々の3次元培養用基材が販売されていますが、『FCeM[®]シリーズ』は、低コストにより多くの細胞塊を調製できること、水と粘性が同等のため、血清や増殖因子などのサプリメントの混合が容易であることに加え、細胞培養用低接着プレートとの組み合わせることで、抗がん剤分子標的薬およびがん転移メカニズムの評価が可能などの特長を有しています。

さらに、培地添加剤“FP001”は、京都大学・物質-細胞統合システム拠点・中辻教授のグループとの共同研究において、ES/iPS細胞の大量培養への応用を検討し、再生医療分野への展開を目指しております。

当社は今後とも、精密有機合成技術、機能性高分子設計、生物評価技術を駆使し、新たな製品の創出に取り組んでまいります。

以上